

松姫の手鏡

武田家滅亡の折、武田信玄の4女「松姫」は甲州から必死の思いで逃亡し、八王子の金照庵にたどり着きましたが、その逃走経路は確かではなく、檜原村には古くから「檜原を逃走経路に使ったのではないか。」との言い伝えが残っております。

その証拠となるものが、藤原地区の民家に大切に保管されていた「松姫の手鏡」で、松姫が逃走中にこの民家に立ち寄り、ひと時の休息をお願いし、その謝礼として置いていった物と言われています。

この「松姫の手鏡」を所有者の振屋喜久治氏から檜原村教育委員会がお借りし、檜原村郷土資料館で展示しておりますのでご覧ください。



○ 檜原村郷土資料館のご案内

- ・ 開館時間

4月～11月／午前9時30分～午後5時

12月～3月／午前10時～午後4時

- ・ 休館日

毎週火曜日（祝日の場合は翌日、その他教育委員会が定めた日）

年末年始（12月28日～1月3日）

- ・ 入館料 無料

- ・ 電話 042-598-0880